

第 8 回

全国公開  
研究会



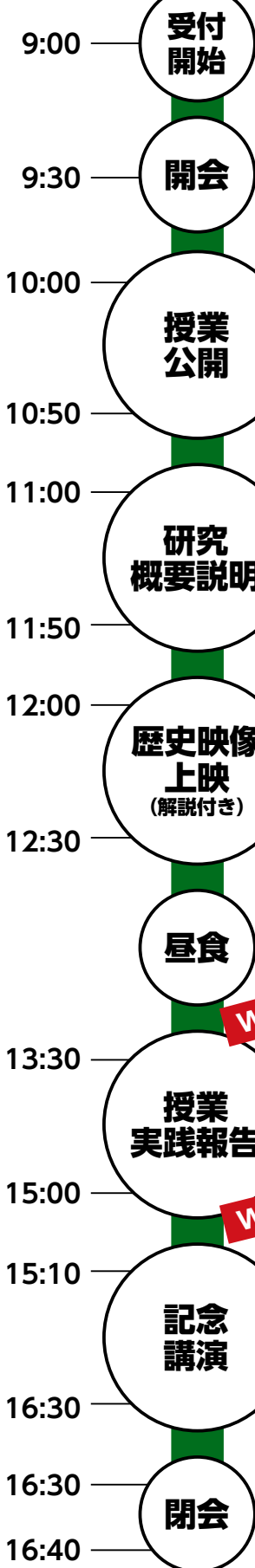
令和 7 年 2 月 7 日 (金)  
9:30 ~ 16:40



# Schedule 「根拠に基づくより良い授業づくりを

～新たな人材育成システム\*を活用した授業づくり、

中央教育審議会において、「令和の日本型学校教育」の構築の可能性を引き出す、個別最適な学びと協同的な学びの実現」領の着実な実施と ICT の効果的な活用を基軸に「主体的・対話実を目指し、学習指導要領を根拠に各学部の実践発表をいたし支えるため、「教員の資質・能力の向上」「若手教員の育成」をムについても報告します。



## ■授業公開

肢体不自由教育部門・病弱教育部門

両部門の全学部の授業を公開します。是非ともこの機会に学校全体の様子や授業の様子をご覧ください。

## ■授業実践報告 Web配信

光明学園の教育資源を活用した授業実践事例を報告します。

### ● 学習内容配列表

#### 「学習内容配列表を活用した授業実践」

肢体不自由教育部門

小学部 自立活動を主とする教育課程 指導・助言：宮城武久氏  
宇川和子氏

中学部 自立活動を主とする教育課程  
知的障害を併せ有する教育課程

高等部 自立活動を主とする教育課程

学習指導要領においては、学校の教育目標の実現及び資質・能力の育成に向けたカリキュラム・マネジメントと主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を進めることが重視されています。ここでは、3つの側面のうちの一つである「教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科など横断的な視点で組み立てていくこと」に対応した学習内容配列表の作成とその実践内容を紹介します。



# 目指して」 授業改善への取組～

を目指すために、「全ての子供たちが明記されました。学習指導要領的で深い学び」のより一層の充ます。また、子供たちの学びを目指した新たな教員育成システ



光明学園統括校長  
島添 聡

## 「光明学園の伝統と新たな挑戦」

本学園の肢体不自由教育部門は、日本初の公立の肢体不自由児の学校である東京市立光明学校をその源流としています。また、病弱教育部門は、都道府県立として最初の健康学園である東京府立久留米学園が母体校となっています。これまで先人達が築きあげてきた、伝統と新しいことに果敢に挑戦していく姿勢をもって、教育活動を積極的に全国に発信していく役割を担っています。今回の公開研では、令和の日本型教育における特別支援教育のキーワードをもとに「授業改善」と「教員の育成」の研究概要について報告します。

## ■研究概要説明

### 「新たな人材育成システムを活用した授業づくり、授業改善への取組」

本学園は、1～3年目までの教員が全体の6割を占めるといった現状にあります。若手教員の育成が重要な課題となっている今、その課題に向けて、様々な角度から人材育成に取り組んでいます。次のようなポイントで本学園の人材育成システムについて報告します。

#### 【人材育成へむけた取組のポイント】

- ・全教員対象一人1公開授業の実施
- ・年次研対象者への授業者支援会議の実施
- ・他学部他校などの授業見学の実施
- ・初任者の校内研修の充実（非常勤教員を初任者担当として配置）
- ・メンターの試行導入
- ・外部専門家の活用

## ●読書活動

### 「光明ライブラリーを活用した授業実践」

肢体不自由教育部門  
病弱教育部門

小学部 準ずる教育課程  
高等部 準ずる教育課程

令和6年6月にライブラリーがオープンし、誰でも、どこからでも気軽に本と触れ合う環境になりました。読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠くことができないものです。子供たちの自己実現を目指し取り組んできた肢体不自由教育部門と病弱教育部門の読書活動の実践を紹介します。

## ●生成 AI

### 「生成 AI を活用した授業実践」

肢体不自由教育部門

高等部 準ずる教育課程

生成 AI は黎明期にあり、技術革新やサービス開発が著しく進展しています。教育現場では、様々な活用のメリットが指摘される一方で、生成 AI の活用を子供たちが鵜呑みにするのではないかと懸念もされています。一定の考え方を示すために AI 研究校として選出され 子供の発達段階や実態を踏まえどのような授業実践が有効か試行している現状を報告します。

## ■記念講演 Web配信

### 「令和の日本型学校教育と新たな教員の学びの姿」

文部科学省 初等中等教育局視学官  
特別支援教育課特別支援教育調査官  
菅野和彦氏



学校教育の充実を図るためには、高度専門職としての教師の力量形成を高めていくことが重要であり、令和の新しい時代の変化に応じた教師の資質能力の向上や肢体不自由教育に必要となる多様な専門性等を身に付けていくことが求められています。特に、教師の業務の中心は日々の授業であり、児童生徒の学びの質を高めるための授業づくりや授業研究を通じ、教師としての専門性を磨いていくことが何よりも大切なことです。講演においては、これらを基盤に新たな時代の教師の学びの姿や、多様な専門性を有する質の高い教師集団の形成についてお話をいただき、これからの特別支援教育の方向性について考える機会とします。



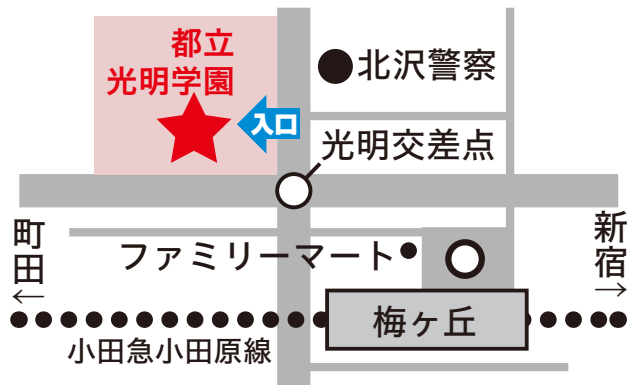
## ■申込み

学校・福祉他本学園に関心がある方などなたでも参加できます。  
お申し込みは下の QR コードから。



## ■会場案内図

○小田急線梅ヶ丘駅下車徒歩約 5 分



今年度も Web 配信 Teams による研究会を行います。  
Teams の ID とパスワードは参加申し込み後にお知らせ  
します。資料等はホームページで御案内する予定です。

令和7年1月24日(金)申込期限

【お問い合わせ】

〒156-0043 東京都世田谷区松原6-38-27

電話：03-3323-8421 / FAX：03-3327-8428

副校長：江見 研究研修ライン：飯田